北海道札幌市「加藤博」（人形劇場やまびこ座・こぐま座）

館長：矢吹英孝

1）東日本大震災によって、活動に何か影響がありましたか？

震災後話し合いをし、劇場として何を出来るかを考えたとき、自粛ムードが広がる中子どもたちの笑顔を絶やしてはいけないという思いから、予定していた公演は中止をせずに、予定通り行いました。

2）震災地域への支援について、既に実施したことや今後の予定、やりたいことなどがありましたら、お書きください。

やまびこ座、こぐま座では震災地域への支援として以下の活動を行っています。

① 公演日には、義援金箱を置いています。
② 5 月 3 日、4 日、5 日のゴールデンウィークに毎年実施していた特別公演をゴールデンウィーク特別企画東日本大震災チャリティー公演として実施。入場料収入、物品販売収入を「東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌」を通じて全額義援金及び活動支援金に寄付しました。また、独楽やけんだま、竹とんぼなどを被災地の子どもたちへ届けました。
③ 5 月 6 日、7 日に札幌駅前通地下歩行空間で「やまびこ座・こぐま座東日本大震災被災地支援チャリティーイベント」を実施。人形劇団の協力を得て、人形劇の公演、物品の販売をします。物品販売で得た収入は、「東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌」を通じて、全額義援金及び活動支援金に寄付しました。

3）被災地域で文化活動に関わる方へメッセージがありましたらお寄せください。

大変だとは思いますが、私たち劇場で出来ることは精一杯やります。一緒に頑張りましょう。